



## 平成 23 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 29 日

上場会社名 多木化学株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4025 URL <http://www.takichem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多木 隆元  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部統括マネージャー (氏名) 前田 治彦 (TEL) 079 (437) 6002  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 12 月期第 2 四半期	16,819	2.6	1,438	5.3	1,534	7.2	795	△6.4
22 年 12 月期第 2 四半期	16,387	4.6	1,365	75.5	1,432	67.2	849	134.8

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 12 月期第 2 四半期	36.80	-
22 年 12 月期第 2 四半期	39.16	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 12 月期第 2 四半期	34,749	16,672	45.0	723.97
22 年 12 月期	33,387	16,149	45.4	701.77

(参考)自己資本 23 年 12 月期第 2 四半期 15,642 百万円 22 年 12 月期 15,163 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 12 月期	-	-	-	10.00	10.00
23 年 12 月期	-	-	-	-	-
23 年 12 月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	4.6	1,800	1.2	1,950	3.7	1,250	21.9	57.85

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 ー社 (社名) ( ー) 除外 ー社 (社名) ( ー)  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報 (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期2Q	23,646,924株	22年12月期	23,646,924株
② 期末自己株式数	23年12月期2Q	2,040,639株	22年12月期	2,039,516株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期2Q	21,606,731株	22年12月期2Q	21,702,266株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」もご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(第2四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、さらには平成23年3月11日に発生した東日本大震災による電力供給の制約や原子力災害の影響が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは平成21年1月から推進している「第9次中期3カ年経営計画」（チェンジ2011）に基づいて、収益力の強化に努め、当第2四半期連結累計期間の売上高は168億19百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は14億38百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益は15億34百万円（前年同期比7.2%増）、四半期純利益は7億95百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （アグリ）

肥料の販売価格が平成22年11月から若干の値上がりになるとともに、販売数量も前年同期に比べ増加したことにより、売上高は57億22百万円となりました。

#### （化学品）

水処理薬剤の販売数量は東日本大震災の影響によるユーザーの需要減等で大幅に減少しましたが、機能性材料の販売数量はスマートフォンなどに利用される高純度金属酸化物が好調に推移しました。この結果、売上高は57億30百万円となりました。

#### （建材）

新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられ、販売数量が前年同期に比べ増加したことにより、売上高は14億2百万円となりました。

#### （石油・ガス）

原油価格の高騰により販売価格が値上がりし、売上高は18億78百万円となりました。

#### （不動産）

ショッピングセンターのテナントの売上が低調に推移したことにより賃料収入が減少し、売上高は7億69百万円となりました。

#### （運輸）

荷動きが好調に推移し、売上高は13億16百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産は347億49百万円（前連結会計年度末比13億62百万円増）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が15億8百万円増加したこと等により、167億83百万円（前連結会計年度末比17億78百万円増）となりました。固定資産は、減価償却がすすんだこと等により、179億66百万円（前連結会計年度末比4億15百万円減）となりました。

負債の部は、預り保証金が7億68百万円減少しましたが、短期借入金が増加したこと等により、180億77百万円（前連結会計年度末比8億39百万円増）となりました。

純資産の部は、四半期純利益が7億95百万円計上できたこと等により、166億72百万円（前連結会計年度末比5億22百万円増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1億2百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは2億50百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは4億69百万円の収入となり、この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末残高に比べ3億21百万円増加し、15億2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加による資金の減少15億56百万円、法人税等の支払5億72百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益13億66百万円、減価償却費6億68百万円等があったことにより、1億2百万円の資金の増加(前年同期は9億26百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

固定資産の取得による支出2億67百万円等があり、2億50百万円の資金の減少(前年同期は1億55百万円の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

預り保証金の返還による支出7億89百万円、配当金の支払による支出2億16百万円等がありましたが、短期借入金16億50百万円増加したこと等により、4億69百万円の資金の増加(前年同期は10億5百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

原油をはじめとする原材料価格は高止まりしたものの、販売数量の増加および販売価格の是正や輸入原料の円高メリット、また、通期については、子会社である多木商事株式会社の株式を追加取得したことなども業績へ寄与すると見込まれるため、平成23年12月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、修正を行っております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

②四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

③四半期連結キャッシュ・フロー計算書の表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました投資活動によるキャッシュ・フローの「定期預金の払戻による収入」(当第2四半期連結累計期間は0百万円)は金額的重要性が低くなったため、当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております。

前第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「預り保証金の返還による支出」は当第2四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しております「預り保証金の返還による支出」は△136百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,502	1,181
受取手形及び売掛金	11,219	9,711
商品及び製品	1,968	2,158
販売用不動産	47	47
仕掛品	160	149
原材料及び貯蔵品	1,727	1,544
繰延税金資産	73	171
その他	156	114
貸倒引当金	△72	△73
流動資産合計	16,783	15,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,333	17,245
減価償却累計額	△11,094	△10,854
建物及び構築物(純額)	6,239	6,391
機械装置及び運搬具	13,668	13,603
減価償却累計額	△12,114	△11,819
機械装置及び運搬具(純額)	1,554	1,783
工具、器具及び備品	1,441	1,414
減価償却累計額	△1,301	△1,277
工具、器具及び備品(純額)	140	136
土地	4,621	4,602
リース資産	7	7
減価償却累計額	△2	△1
リース資産(純額)	5	6
建設仮勘定	114	48
有形固定資産合計	12,676	12,968
無形固定資産		
のれん	74	91
ソフトウェア	40	43
その他	31	27
無形固定資産合計	146	163
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881	4,969
繰延税金資産	32	33
その他	376	397
貸倒引当金	△147	△150
投資その他の資産合計	5,142	5,249
固定資産合計	17,966	18,381
資産合計	34,749	33,387

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,800	4,763
短期借入金	3,027	1,377
1年内返済予定の長期借入金	341	341
未払金	1,082	1,131
リース債務	1	1
未払法人税等	424	567
未払消費税等	72	73
賞与引当金	15	13
役員賞与引当金	—	17
その他	960	844
流動負債合計	10,724	9,131
固定負債		
長期借入金	1,087	1,259
リース債務	4	4
繰延税金負債	407	400
退職給付引当金	2,310	2,339
預り保証金	3,252	3,763
その他	290	338
固定負債合計	7,352	8,105
負債合計	18,077	17,237
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,217	1,217
利益剰余金	12,100	11,521
自己株式	△744	△744
株主資本合計	14,720	14,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	921	1,021
評価・換算差額等合計	921	1,021
少数株主持分	1,030	986
純資産合計	16,672	16,149
負債純資産合計	34,749	33,387

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	16,387	16,819
売上原価	12,186	12,505
売上総利益	4,201	4,313
販売費及び一般管理費	2,835	2,875
営業利益	1,365	1,438
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	72	80
その他	45	62
営業外収益合計	124	144
営業外費用		
支払利息	43	29
固定資産除却損	9	12
その他	5	5
営業外費用合計	58	48
経常利益	1,432	1,534
特別利益		
補助金収入	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
災害による損失	—	168
特別損失合計	—	168
税金等調整前四半期純利益	1,455	1,366
法人税、住民税及び事業税	548	431
法人税等調整額	29	116
法人税等合計	578	547
少数株主損益調整前四半期純利益	—	818
少数株主利益	27	23
四半期純利益	849	795

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	8,278	8,722
売上原価	6,083	6,405
売上総利益	2,195	2,317
販売費及び一般管理費	1,392	1,426
営業利益	802	891
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	58	62
その他	26	25
営業外収益合計	87	88
営業外費用		
支払利息	19	14
固定資産除却損	8	6
その他	2	4
営業外費用合計	30	25
経常利益	859	954
特別損失		
災害による損失	—	47
特別損失合計	—	47
税金等調整前四半期純利益	859	906
法人税、住民税及び事業税	233	267
法人税等調整額	98	97
法人税等合計	332	365
少数株主損益調整前四半期純利益	—	540
少数株主利益	19	8
四半期純利益	506	532

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,455	1,366
減価償却費	634	668
固定資産除却損	5	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△53	△4
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	70	△29
受取利息及び受取配当金	△78	△82
支払利息	43	29
災害損失	—	168
売上債権の増減額(△は増加)	△1,740	△1,556
たな卸資産の増減額(△は増加)	181	△123
仕入債務の増減額(△は減少)	214	36
その他の資産の増減額(△は増加)	86	△22
その他の負債の増減額(△は減少)	153	200
その他	0	△12
小計	958	623
利息及び配当金の受取額	78	81
利息の支払額	△43	△30
法人税等の支払額	△66	△572
営業活動によるキャッシュ・フロー	926	102
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△195	△267
固定資産の売却による収入	1	15
有価証券の取得による支出	△120	—
有価証券の売却による収入	347	—
投資有価証券の取得による支出	△77	△2
投資有価証券の売却による収入	0	2
定期預金の払戻による収入	200	—
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	155	△250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△450	1,650
長期借入金の返済による支出	△192	△172
預り保証金の返還による支出	—	△789
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△220	△216
少数株主への配当金の支払額	△4	△1
その他	△137	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,005	469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	75	321
現金及び現金同等物の期首残高	1,225	1,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,301	1,502

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。